

特集 わがまち南島原の 安全・安心を守る組織 消防団

消防団とは

郷土と住民を火災やその他の災害から守るため、他に職業を持つ傍ら『自分たちのまちは自分たちで守る』という郷土愛護と奉仕の精神で、いったん事あるときは、献身的に消防活動を行う消防団員の組織です。

組織体制について

南島原市消防団は定数1,343人に対し、7月1日現在で、1,299人が入団しています。

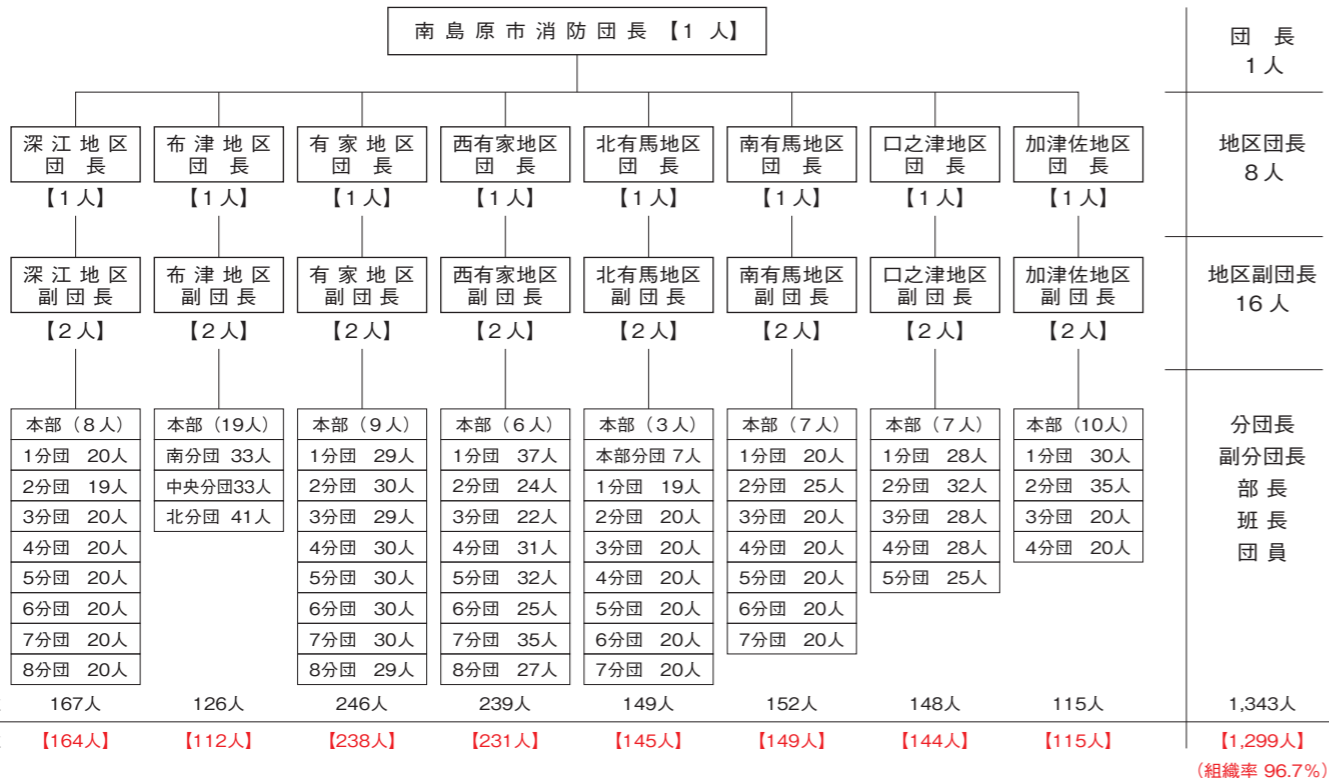
消防団は団長を筆頭に、地区に地区団長（副団長格）をおき、それぞれの地区を管轄しています。そして、各地区には51の分団を置き、地域の安全を守っています。そのうち北有馬地区本部分団はラッパ隊として、出初式などの式典やイベント時に活躍しています。



第32回長崎県消防ポンプ操法大会出場選手



南島原市消防団組織図 (平成26年7月1日現在)



Focus in 南島原 まちの話題



禅と弦 お寺でクラシック

5月31日、玉峰寺(口之津町)でコンサート「禅と弦」が行われました。

これは住職の知見^{ちけん}さんと妻の美穂さんの「禅と弦の響きが似ている」という思いつきから始めたもので、今年で9回目となります。

今回のテーマは「伝える」。初めに来場者全員で座禅を組んだ後、「伝える」をテーマにした朗読、伝統武術の演武やプロの演奏家によるクラシックの名曲が披露されました。

コンサート中、会場は静寂に包まれ、訪れた人たちは特別な場所での演出に魅了されているようでした。会場を訪れた国際交流員のチュウさんは「西洋のものと東洋のものが融合して素晴らしかった」と感動した様子で話していました。



島原地区危険物安全協会がAEDを寄贈

6月6日、島原地区危険物安全協会からAEDの寄贈がありました。

これは、同協会が設立40周年を記念し、社会貢献事業の一環として島原半島3市に1台ずつ寄贈するものです。

冒頭、同協会の馬渡^{まわたり}裕^ゆ会長は「40年間大きな事故もなく協会を運営することができたのは地域の皆さんのおかげ。感謝の気持ちとして贈りたい」と話しました。

贈られたAEDは市内で一番大きい体育館である深江体育館に設置します。



梅谷小で画家による絵画教室

5月23日、梅谷小学校で、フランスの最高勲章であるレジオン・ド・ヌール勲章を受章されるなど、現代フランスを代表する日本人画家、松井守男さんの絵画教室が開催されました。愛知県出身の松井さんは、細かなタッチを面相筆^{めんそうび}で描く「光の画家」として有名で、日本人でありながら数々の賞をフランス政府から授与されています。現在は、フランスのコルシカ島と五島市の久賀島を拠点に制作活動を行っています。

この日松井さんは、「使いたくない色」「利き手とは逆の手」「逆さま」「日本人が使いたくない黒色」「目を閉じて」など、児童に指導し描かせました。普段と異なる色や描き方に児童は戸惑いを見せたものの、すぐさまのみ込み、独創的な作品を完成させました。

今回の教室は、児童たちの個性を発見させるきっかけ作りとなったのではないのでしょうか。